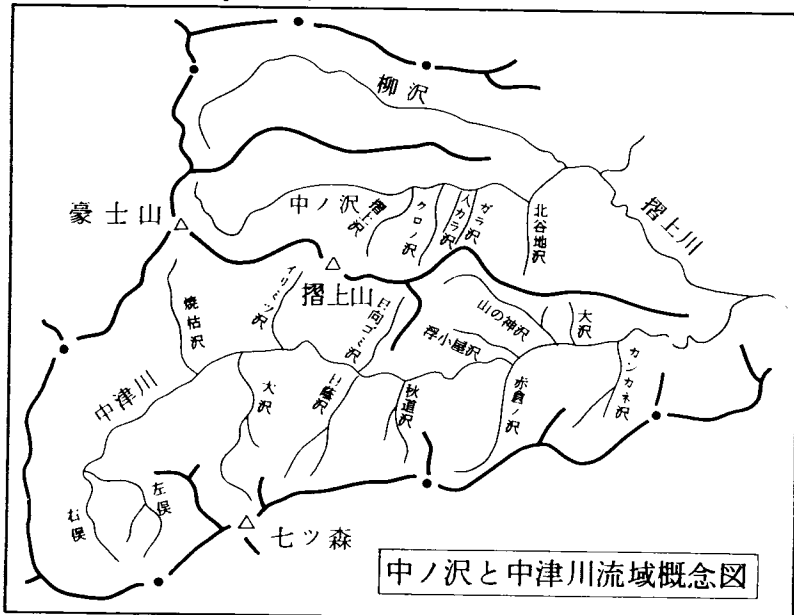


# 中ノ沢と 中津川流域

中ノ沢と中津川、いずれも摺上川の源流帯を構成する大支流である。福島県と山形県の県境稜線から、深い谷を刻みながら東流し、摺上川本流に注ぐ。

中ノ沢、中津川とも、本流は深い谷間を刻んでいるだけで、流れはゆったりしており、沢登りとしての魅力には乏しい。南北に肋骨状に派生する支沢が沢登りの対象となる。このうち、中ノ沢流域の支沢は概して平凡で、沢登りとして興味あるものは、中津川流域に集中している。大沢、日蔭沢、秋道沢、カンカネ沢などが特に興味深い。

中ノ沢、中津川とも、林道が沢ぞいに奥深くまで入り込んでいるので、アプローチに車を利用することが可能である。ただし、入口部分にゲートがあるので、営林署の使用許可を受けて、ゲートの鍵を借りておく必要がある。アプローチの問題さえ解決すれば、いずれの沢も軽い半日行程と考えて良い。摺上川流域の中でも、烏川流域と並んで、最も奥深く、登りごたえのある地域である。



中ノ沢と中津川流域概念図